

2025年度第3回日本学連幹事会議事録

【日程】2026年2月24日(土) 20:00 ~ 23:20

【開催場所】zoomを用いたオンライン開催

【議事録作成者】西澤汰知(東北大学)、石井雅人(東北大学)、早川正真(立命館大学)

【目次】

1.新規事業契約について.....	3
2.インカレ用OCADライセンスの購入について.....	3
3.新規施策について.....	4
4. 日本学連版権テレインの地図修正にかかる費用の継続的な支出についての検討.....	4
5.部局報告.....	4

2025年度第3回日本学連幹事会議事録

出席者(敬称略)

氏名	役職	学校名
石川翔太	幹事長	東京大学
森創之介	副幹事長	横浜国立大学
町田千優	会計	御茶ノ水大学
加藤賢斗	事業部長	筑波大学
西澤汰知	広報部長	東北大学
早川正真	広報部員	立命館大学
石井雅人	広報部員	東北大学
湊菜々子	普及部長	茨城大学
佐藤若葉	渉外部長	東北大学
林希華	渉外部員	日本女子大学
石原尋季	事務局長	京都工芸繊維大学
久島典子	事務局員	京都大学
川瀬智尋	事務局員	奈良女子大学
山崎僚太	北東学連幹事長	岩手大学
美濃部遼	関東学連幹事長	筑波大学
祝部大旗	北信越学連幹事長	新潟大学
柿本源心	関西学連幹事長	京都大学
井上風大	中九四学連幹事長	広島大学
根岸健仁	理事	一橋大学卒

1.新規事業者契約について(根岸)

概要

関西地区の日本学連保有テレインの管理をNishiPROに委託する、来年度以降の契約の一部に関しての値上げが主な変更点となる。

詳細な変更点として、

- ・倉庫賃借契約に関して、保険料や光熱費の高騰を受けて5万円値上げ。
- ・地図管理に関する契約に関して、業務委託料の実態に即した金額設定に変更(サイズによる細かな料金設定、2つのテレインをまたいだ地図料金設定等)、著作権代の明確な定義の設定。お金の流れは、利用者が業務委託料と著作権代を委託業務者に支払い、業務者は著作権代を日本学連に支払う形となる。
- ・関西地区の日本学連保有テレインの管理では、地元渉外には大きく関わらない。

質問

佐藤: 青山とマキノの使用申請があった場合はどのように対応するか。

根岸: まだ確定していないが、利用申請等は栃木に沿う形にする予定。また、渉外に関しては日本学連が行うのではなく、地図管理者が情報提供し利用者が渉外を実施する形となる。

石川: 著作権代の大規模地図修正に関わる料金に関して、日本学連が地図修正を行った団体に拠出した場合どうなるのか。

根岸: セレクション開催時に行われるような修正は大規模ではないという解釈。大規模地図修正とは、10年間修正を行っていないテレインの修正やコンタ等の取り直しなどの規模感を考えている。総会までに著作権代の管轄と大規模地図修正に関して練り直したい。

議決

関西地区の保有テレイン(青山・マキノ)の管理契約について承認を取る
過半数の賛成をもって承認とする。

2.インカレ用のOCADライセンス購入について(浴本)

概要

インカレで使用するOCADは実行委員会での購入もしくは地域クラブの所有するOCADライセンスの使用など年により異なる。そのため、地域クラブへのOCAD使用料を支払うなどの煩雑さや今後のインカレで統一するためにも、インカレを主催する日本学連がOCADライセンスを購入すべき。

割安である3年プランを想定しており、各年度10万円程度の支出となる。4つのOCADライセンスを購入し、秋と春のインカレでそれぞれ2つずつ(各インカレの2人のコースプランナーに向けて)ライセンスを所有する方針となる。

意見・質問

石川: 収入が多く新規施策を検討している団体なので、10万円の支出があること自体は問題ないように思う。

森: 支払いは一括だが、予算計上は各年度10万円ずつ

日本学連としては来年度からOCADライセンスを購入する方針とする

3.新規施策について(石川)

概要

新規施策のアンケート結果から、実現可能なものとして、

- ・JOAの傷害保険の加入にかかる費用の補助(大会費用の補助にもつながる)
- ・OCADライセンスの貸出制度
- ・地区学連のセレクションの運営補助

がある。

JOAの傷害保険の加入にかかる費用の補助について

補助の対象を大会-練習会のどこまでにするか、半額や全額など補助の範囲が検討事項である。

日本学連の対応フローとしては、フォームの提出と請求書の提出→議決権を持つ幹事の承認→補助金額の支払いとなる。そのため、練習会も保険の対象にした場合、承認までの手間を考えると現実的ではない。

来年度は試験運用の観点から、学生主催の大会に関して、JOAの保険を利用する場合に限定して全額負担する方針とする。今年度の大会から、来年度は試算として30万円程度の支出となる見込みである。

今後、学生主催の大会の明確な定義が必要。

OCADライセンスの貸出制度について

アンケート結果から出た意見として、

- ・日本学連が所有するOCADライセンスを非学連登録者が利用する場合はOCAD側の規約違反になるのではないか
- ・OCADライセンスの解除忘れや大会前の長期利用など、運用上の課題をどうするか

4.日本学連版權テレインの地図修正にかかる費用の継続的な支出についての検討(石川)

概要

近年の関東ミドルセレにあるように、日本学連保有テレインの地図修正にかかる費用が増加している。そのため、要望があってから費用を捻出するのではなく、あらかじめ継続的な予算を立てていくことで、日本学連側にとってもセレ運営側にとっても円滑な対応ができるのではないかと。

具体的には、現状の地図修正費の用途を日本学連版權テレインの大規模修正の委託費用として明記し、来年度以降の予算に組み込む。

5.部局報告

概要

詳細は資料を参照のこと